

## 試聴会・訪問記掲載

### 河口無線ハイファイリティ試聴会報告(2016.3.12)

河口無線で開催された M2 テックの JOPLIN MK2 の試聴会に行ってきました。

#### <使用機材>

以下のようなラインアップで計画され、試聴会が進行しました。主役の [JOPLIN MK2](#) の他、DA コンバーターの [Young DSD](#)、ヘッドフォンアンプ兼プリアンプの [pro iCAN](#)、アクセサリーの [iPurifierDC](#) や [ZYX Ring](#) も使用されました。



デジタルフォノイコライザー : M2TECH Joplin MK II  
写真上段が Joplin MKII 中段が DA コンバーター Young DSD



#### pro iCAN

MC カートリッジ : ZYX R100 YATRA / R100-MONO

プレーヤー : ラックスマン PD-171A

プリアンプ : ラックスマン C-900u

パワーアンプ : ラックスマン M-900u

スピーカー : B&W 802D3



当日のセッティング

#### <試聴の経過>

試聴は、地下鉄事故のため開始を遅らせ、ディーラーの代表から JOPLIN MK2 の詳しい機能の説明があつてから、評論家の田中伊佐資氏の司会で進行しました。なお、カートリッジはステレオとモノの音源で上記をその都度付け替えて使用し、フォノ出力は JOPLIN MK2 から Young DSD を経て Lux のプリに入力することで試聴が始まりました。

上記サイトおよびディーラーの説明によれば、JOPLIN MK2 は以下のパラメーターを設定することができ、設定内容は非揮発性メモリーに保存されるので、電源を ON にする度に設定が自動的に適用され、リモコンで使用中にも設定を変えられるとのことです。JOPLIN MK2 ではアナログ信号を ESS のチップでいったん 384KHz32bit の PCM に変換し、所定のイコライザーカーブの式で計算するとのことです。

入力ゲイン

入力インピーダンス

入力機器の選択

サンプリング周波数

解像度

イコライゼーション・カーブ

ディスプレイの明るさ

ハイパス（アンティランブル [ゴロゴロ音を防ぐ] ）フィルター

ローパス（アンティヒス [ヒスノイズを防ぐ] ）フィルター

MPX フィルター

開始の前に、シューリヒト/ウイーンフィルの未完成を ffr カーブと RIAA カーブで切り替えるデモがありましたが、アナログというよりはデジタルを聴いているよう

で、カーブの設定で確かに音が変わることは分かりましたが、どちらのカーブが良いか、判然としないところがありました。

続いて最近の録音のボーカルとジャズのアナログ盤がかけられましたが、クリアーでディテールもよくわかる音でしたが、アナログとデジタルの中間的な音がしており、ジャズの使用されているピアノの機種まで分かるようなものではありませんでした。

ここでイコライザーカーブの切り替えに入り、デューク・エリントンの1957年録音の盤をRIAAとコロンビアカーブの切り替えで聴きましたが、これは明らかにバランスや音の張り出しでコロンビアカーブの方がマッチしていることが分かりました。次に1970年代録音のホルストの惑星から木星をRIAAとffrrカーブの切り替えで聴きましたが、バランス的にはffrrカーブが良かろうとは判断できましたが、オケの弦楽パートなどにデジタル臭さが残りました。

ここでフォークソングを聴きながら、JOPLIN MK2の電源にiPurifier DCを加えるデモがありましたが、ボーカルのニュアンスの表現など、参加者が十分納得するほどその効果は明らかでした。現在iPurifier DCを常用しているので、心強く思いましたが、ディーラーの説明によれば、iPurifier DCはエフェクターなどに対してプロのミュージシャンからも好評とのことでした。ここでフロアーからRIAAの録音をffrrなどで聴いたらどうなるかとの質問があり、新しい木星の録音盤を切り替えて聴いてみましたが、ffrrにするとバランスが崩れ音が鈍る傾向がみられました。

次にシェルの取り付け部にZYX Ringを取り付けるデモがあり、木星の再生でも音が落ち着いて透明度があがった印象を持ちました。

さらにLuxのプリをpro iCANに替え、真空管の出力と真空管と石のハイブリッドで聴きましたが、現在真空管アンプを使用している関係から、真空管の方が聴きやすい感じがしました。値段を考えれば、pro iCANも健闘したと言えます。

この後、ロックとボーカルのデモがありましたが、アクセサリーの効果もあってJOPLIN MK2はこういうジャンルの音楽には向いているように感じました。

なお、当日のB&W 802D3は真価を十分に発揮していたとは言えず、2月6日の[テクニカルブレインの試聴会](#)とは随分印象が違いました。テクニカルブレインの製品は設計思想が根本的に違い、物量投入のフォノイコ内蔵プリアンプからパワーアンプまでの総合力が効いていたと思います。

#### <まとめ>

JOPLIN MK2の多様な機能とイコライザーカーブの切り替えの効果は理解できましたが、アナログ信号をデジタル化してから、計算をするというプロセスが入るのでクラシック系では、どうしてもピュアなアナログを聴いている感じがしませんでした。今回はむしろ周辺アクセサリーの効果の方に興味が湧きました。

以上